

資料1 新たな学校づくり委員会 部会⑤協議の整理 「新たな学校の全体イメージについて」

項目	グループ1	グループ2	グループ3
<p>議題1 探究学習や学校生活を支える指導・支援体制は？</p>	<p>村にいる詳しい人々の活用 地域、中川村の歴史や行事に詳しい方 つくる時間(図美、技家、音、保体) 地域等で得意な方がCT(非免も可)しかし、表向きは既存の教員がCT、実際は教員はST 「ふるさと中川学」の時間 教員はこの時間の構想から実践へ注力する。CTは教員</p> <p>学習支援を行う人材 学習について行くのが難しい子への支援をする人は必要。理想はゆっくり進めるクラスをつくること。(特に小学校)</p> <p>不登校支援を行う人材 学校にあまり登校できていない児童の学習支援をしてくれる方(先生) 原級、支援級以外の教室、居場所、そこに居てくれる大人</p> <p>ICT等の活用 土台の時間(国・算・数・英)はAI先生又は塾等のSuperTeacherかCT、既存の教員はST 中川の良さを大事にしながらか中川村にないものも外部から呼べるものも学べると良い。AIの先生、OBを使う。</p> <p>個別最適で協働的な学びの充実 自由進度学習の充実</p> <p>柔軟な学習グループ 大勢で学ぶのは楽しいので2学年合同は賛成</p> <p>教員へのサポート 先生を支えられるしくみ(人)メンタルもふくめて先生に負担はないのか</p> <p>探究学習のカリキュラム 探究の時間を幅広く取り組め、学年が上っても続くものと新たにチャレンジしたものが取り組めるものであってほしい</p>	<p>教科担任制、複数担任制等の推進 小・中あわせて教科担任制、専門、プロ 算・数は専科的に小1から 担任も柔軟に、ex 1～3、4～6、7～9、3人担任制、誰でも頼れるチーム担任制、抱え込まない1人を複数でみる(チーム医療) 農業科の先生、幼稚園教諭</p> <p>相談できる人材 生活面、勉強面、様々な相談、子どもからの相談、親・保護者からの相談 子育て相談に対応できる人がいるといい 親子関係とかどう対応したらいいかわからない時 赤ちゃん・ちびっこ先生 おじい chan 先生 おばあ chan 先生 「子供笑うないつか来た道、老人笑うないずれいく道」 先生方や子どもをサポートして下さる専門職、心理カウンセラーを保健室におくとか…</p> <p>村にいる詳しい人々の活用 キャリア教育できてくれる皆さんが先生になる 進路(出口の問題)多くの教員がかかわる仕組(村民の力) 人材「体験学習コーディネーター」野外、アクティブラーニングとか地域を使った学習を教員だけではデザインできないので補助する人が数人 ICT(デジタル利活用)支援員・コーディネーターは絶対必要 教員のスキルアップ支援(アクティブラーニング等) (アメリカ方式)プロジェクトワイルド...アドベンチャー ect</p> <p>若者のサポーター 高校生・大学生サポーター 高校生が訪れて指導</p> <p>異学年交流 学年合同の授業をもっと増やす(総合・体育・音楽とか?) ホームルームをたてわり、異年齢班にする。「寛容さ」が育つ</p> <p>その他 NPO 等フリースクール/学童をしていく組織</p>	<p>学校運営の継続性 現校長を引き続きお願いする</p> <p>PTAのあり方 PTAのこれからのあり方を検討する</p> <p>学習支援を行う人材 村費で、教科を教えられる人を複数確保 中川学(仮)コーディネーター(村費) 常勤 高給</p> <p>相談できる人材 教員向け心の相談員 現場の教員が子ども達と向きあえる時間を増やす為のSTAFF(有給) 休み時間に気軽に遊べる先生・地域の人たち 保育園又は託児所→子育て相談</p>

<p>議題2 学校と地域をつなぐ中川村に合った仕組みは？</p>	<p>(学校運営協議会に)子どもや保護者の声が届くように 子どもも生徒も参加 たとえひとりでも保護者・生徒の声が届くしくみ どんな組織体制でも、子供や親の声を聞くことを定期的に取り入れる。 大人が考えることは子が求めることは異なることも 村(地理、人、地域のこと)に精通している人</p>	<p>企業や団体等との連携・協働 既存の団体ボランティアを生かしつつ「子どもの学び」につながる意識仕組み 既存の事業所や団体と連携する仕組み 商工会、JA、社協等 社会教育(団体)につながる プロジェクト型 PTAとの関係？ 異学年交流 人数が必要な活動を異学年合同 体制を支える仕組み 興味や知識を持った人達を集める 生徒会とのつながり 子も1票 大人も1票 協議会(トライ&エラーしてみないと分からない…)あるいはケーススタディー 「ボランティア」の研修の機会 教育移住を支援する 資金調達や村外へのPR グローバルな学びの充実 世界とのつながり(国内、外) オンライン他、外からの刺激 村外、県外、海外とのつながりをつくる⇔村内カリキュラムが多すぎる グローバルなキャリアを意識できる支援、組織・人材</p>	<p>構成員として 学校運営協議会には各年代の希望者を、あて職はNG 公民館をHubに 公民館の活動は学校と結びついているといい→公民館移転？ カリキュラム 子どもが安全に体験できるようボランティアの設置 通学合宿(地域密着) 子ども達の移動方法の確保 EVST バス停 専用バスと運転手 ライドシェア 送迎ボランティア</p>
<p>議題3 これまでの協議を活かす校舎の工夫は？ ・必要な教室や場所 ・地域とともにある学校 ・敷地の使い方 等</p>	<p>多様な実態に合わせた居場所づくり 1人でも静かに過ごせるスペース、放課後だけでなくすごせる場所 特別支援級の教室には個のスペースは必須かと思う 学校内に個になれるスペース 玄関、入り口を別に作る いろいろな人の目を気にせず学校に来られるように 地域の方が来なければならない機能を付帯する みなかた診療所を移設(むりですね…) 薬局(マツキヨなど)を併設、JA直販+ファミマも 「田切の里」みたいな 公園やミニ役場(住民票の発行など)行く理由がある施設 行政(公民館)機能 災害時の避難場所としてのづくり 災害時に利用できるよう体育館には空調必要 非常時にも学校生活がストップしないづくり</p>	<p>オープンな学び、オープンな教室 必要に応じてひらいたりじたりできる間仕切り(パーティション) 誰でも入れるスペースに図書館を 校舎や設備の工夫 体育館の空調(エアコン)は絶対必要！！ 広い廊下(廊下というよりは広場的な空間) 教室の中だけではない色々な場所で授業 体育館2つ ①バスケ2面は最低(ステージ付) ②講堂的なスペース(ステージ付) 空調は必須 プール不要 今のプールスペースも有効に使う 図書館 視聴覚的な扱い</p>	<p>やりたいことができる環境 興味がある時に体験できるシステム 子どもたちにオープンな資料室、音楽室、理科室など オープンな職員室 教室という概念にとらわれない 地域の方が来たいと思える施設をつくる 地域に開かれたスペース→目的を限定しないフリースペース 学校 CAFE 食堂 売店 校舎や設備の工夫 ギャラリー 理科室…3室 教科専用室 ホームベース</p>

	<p>地域の方が来たいと思える施設をつくる カフェテリア子育て中の母達も気軽に来られる学校(図書館など) ピアノを置いたミニコンサートが出来る様なスペース(円形)、会議にも使える 大ホール(一般も使えるコンサートホール)</p> <p>校舎や備品の工夫 体育館の空調 猛暑時授業等で使えるように 木造校舎の3階建は地震に大丈夫か? 全体に窓が多く明るいこと、外が見えること 教室の銘々膳机×、円卓○ どこでも座ってよい でも…一人でいたいひとのために銘々膳机もある 教室には壁がないといけません? 「教室」という場で先生は守られている面もあるので、渋谷の学校は○ ステキな中庭(教室の窓から見える) 体育館は2つ?(村の体育館の数) 障害者や高齢者等向けエレベーター プールの授業を委託するのは賛成 教室の壁は必要 学年を超えて、学べる下の学年と又、上の学年にもチャレンジできる</p> <p>学校以外の施設 児童クラブはくっつけない少しは離れた所につくる</p>	<p>中川村の「木」を使った机づくりなどに、木を切る体験から関わる</p> <p>遊具の設置 基本的な遊具は欲しい+何でもできるスペース</p> <p>災害時の避難場所として 災害時の規定も必須</p> <p>地域の方が来たいと思える施設をつくる 日曜日とかに給食(カフェ)が食べられるような… 公民館、地域活動でも使う。教委も入る 発信できるセンター たき火で語れるコミュニティスペース+学童 薪ストーブ 村民が交流するスペースあるといい 文化サロンみたいな学生のクラブと一緒にできる 文化センターと学校施設を一体化で考える</p> <p>生き物をとおした学びの場 生物を飼育+学習(酪農とか) 森 生態系をよびこむ 食につなげる を学校の中に育てる</p> <p>ICTの充実 フルクラウド 校務・学習の一本化 図書館にメディアセンター的なもの デジタルデトックスができる ホルモンバランスを整える⇔ICT</p> <p>その他 バイオマスエネルギー 体験を通してあたりまえに</p>	<p>体育館2棟又は2F 更に地下にピロティ(高森中参考) 空調あり 全てのトイレを男女別ではないものに オープンスペース棟(地域の方の出入り自由な) と 学習棟 2つあるといい?</p> <p>学校以外の施設 高校生の居場所 保育園又は託児所→(子育て相談もできる) グランド境の森とつなげる 歴博の出張所</p> <p>セキュリティ面 教員・地域の方 ユニフォームを着る</p>
--	--	--	---

【参考】 傍聴者から寄せられたご意見

項目	傍聴者	
<p>議題1 探究学習や学校生活を支える指導・支援体制は？</p>	<p>ただただ見守る大人 責任も義務もない地域の方が、自然と子供達と共に居る状態 (一人暮らしの方々の well-being の居場所) 村人先生インターン制度 村費で先生やってみない？ 1年間はおためしでインターン たとえば週1回で薄謝をもらいながら地域の方が学校とかかわりをもつ 遊びのプロ スケボーのうまい人、サッカーの好きな人など教えるのが上手というより一緒に楽しめる大人 自然と共に生きてきた地域の方々がテーマごとに先生になってほしい 先生と呼ばない人を増やす(全員〇〇さんでも…) みんなの学校のように地域の人が自然に職員室にいる 保護者の自由参観 ↓ 保護者の授業参加 ※常に誰かの親が居る</p>	
<p>議題2 学校と地域をつなぐ中川村に合った仕組みは？</p>	<p>日本で最も美しい村連合との連携 農村の資源(ヒト・モノ・コト)を学びに活かすために連携 村外の企業や大学との学びの協働 村外に住んでいる中川村応援団 離れているけど心は共にある オンラインでつながる 学校の OB・OG の組織 商工会との連携</p>	
<p>議題3 これまでの協議を活かす校舎の工夫は？ ・必要な教室や場所 ・地域とともにある学校 ・敷地の使い方 等</p>	<p>中央アルプスを望める軸をつくる 動物を飼う ICT のツールを活用してセキュリティ管理する 回遊できる建物デザイン 公民館ラボを理科室に 地域資源を活用した学びのための実験室をつくる 例えば① 大豆とクラで納豆をつくろう(菌の培養庫をつくるなど) 例えば② 再エネの実験をしよう！(ミニ水力発電所をつくってみよう) など 中心に中庭があり放射状にオープンスペースを設ける 調理室または Cafe キッチンは防災を意識して作る(防災食堂) ↓ 時々、地域の人が集まって一緒に食事 図書室、技術室</p>	<p>地域開放型 音楽室も地域開放型(サウンドホール)</p>

